

専門学校第三者評価 報告書

学校法人 山口学園

ECC アーティスト美容専門学校

令和5年3月

一般社団法人 専門職高等教育質保証機構

目次

I	評価結果	1
II	基準ごとの評価	2
	基準 1 目的・目標の設定および入学者選抜	2
	基準 2 専修学校設置基準および関係法令等の適合性	6
	基準 3 職業実践専門課程の認定要件の適合性	11
	基準 4 内部質保証	13
	基準 5 学修成果	16
	【参考資料】	19

I 評価結果

ECC アーティスト美容専門学校は、専修学校設置基準および職業実践専門課程認定要件をはじめとした関係法令に適合し、専門職高等教育質保証機構が定める評価基準を満たしています。

主な優れた点として、次のことがあげられます。

- 国際性が重要視とされる背景の中、英語力や国際交流をする学生数を増やしてきた実績があり、「専門力×人間力×国際力×ICT 活用力」を重要目標として掲げ、意欲・熱意ある学生を育成することをめざして取り組んでいることは、これからの時代を見据えた内容として優れています。
- 就職実績、とくに「業界就職」が非常に高いこと、資格取得、国家試験合格率等にも反映されていることは優れています。

主な改善を要する点として、次のことがあげられます。

- 入学定員に対する出願者、実入学者のデータは数値のみの資料となっており、経年変化や、コロナ禍による影響があるのか分析ができないため、今後、データを整理・分析されることが期待されます。
- 教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の議事録については、委員の発言内容が議事録として記録されており、本学校の考え方や教育の質改善・向上の方向性が明確ではありません。今後は、教育の質改善・向上の方向性を含めた報告書の作成が望まれます。

更なる向上が期待される点として、次のことがあげられます。

- 学生アンケートや授業に対するアンケートを実施していますが、アンケート結果の分析や教育の質改善・向上に向けた方策の発信が明確に行われることを期待します。

Ⅱ 基準ごとの評価

基準1 目的・目標の設定および入学者選抜

- 目的・目標が、適切かつ明確に定められており、その内容が職業実践的な教育に適したものとなっており、当該目的・目標が周知、公表されていること。
- 入学者受入方針が明確に定められ、それに沿った学生の受入が適切・公正に実施され、機能していること。
- 実入学者が、入学定員と比較して適正な数となっていること。

【評価結果】 基準1を満たしている。

評価結果の根拠・理由

1-1 学校の目的・目標において、学生が身につける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等が、適切かつ明確に定められているか。

学校法人山口学園は、ECC アーティスト美容専門学校(以下「本学校」と略します。)、ECC 国際外語専門学校、ECC コンピュータ専門学校の三校から構成されており、全ての学校に統一した教育理念として、「実践的な専門知識の教育と技能の習得を通じて、社会が求めるところの高度専門職業人の養成、且つ、豊かな社会、平和と幸福を希求してやまないこころ豊かな社会人の育成をはかる。」を掲げています。この理念に基づいた運営目標、行動規範、教育目的が、適切かつ明瞭に定められています。とくに、学園全体の教育目標として「4つの力(専門力、国際力、人間力、ICT活用力)を持った人材育成」をスローガンに掲げています。

学園の運営目標として、次の三項目を定めています。

- ① 変化する時代社会の要請に即応し、学生、保護者そして広く社会よりの期待に応える最先端の専門学科、コース開発に努め、社会の持続的発展に寄与する専門学校づくりをめざす。
- ② 教職員が誇りをもち、且つ、安全で健康な楽しく働きやすい環境を有する専門学校づくりをめざす。
- ③ さまざまな社会貢献活動への参画を通して卓越した実行力を有する専門学校づくりをめざす。

本学校の教育目標は、「美容業界で長く活躍できる総合的な人材育成の実現」であり、コースごとの教育目標と連動し、明確化されています。2022年度は「学修成果の達成、

可視化」と「各部署連携」の二点を重点目標としています（2021年度第2回学校関係者評価報告書）。

以上のように、学生が身につける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等が、学校の目的・目標に適切かつ明確に定められています。

1-2 学校の目的・目標が、構成員（教職員および学生）に周知され、社会に広く公表されているか。

ハンドブックの公開、配布を通じた説明により一般（高校教員、保護者、地域関係者等）および教職員、在校生、新入生に対して周知されています。教職員に対しては、年度はじめの全体会や全講師会議においてハンドブックを配布し、各部署責任者より方針や変更点が説明されています。新入生、在校生に対しては、オリエンテーション・ガイダンスにおいてハンドブックを配布し、各部署責任者や教務課担当者が説明しています。

1-3 学校の目的・目標に沿って、求める学生像や入学者選抜の基本方針等が記載された入学者受入方針が明確に定められ、公表、周知されているか。

学校の目的・目標に沿って、求める学生像や入学者選抜の基本方針等が記載された入学者受入方針は明確に定められ、公表、周知されています（「アドミッションポリシー」に明記されています）。山口学園の理念、本学校の教育目的および教育目標に基づき、技術面だけでなく、人材像等の面からも業界が求めるカリキュラムを編成し、業界で長く広く活躍できる人材の育成をめざして、資質・能力・意欲をもった人材を広く受け入れています（Web上の募集要項には、①専門力②人間力③国際力の内容が掲載されています）。

1-4 入学者受入方針に沿った学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が、適切な実施体制により公正に実施されているか。

入学者受入は、①AO入学、②公募推薦入学、③一般入学であり、書類選考および面接によって実施されています。入試面接は、入学願書や調査書など提出された書類をもとに一人あたり15分程度の個人面接を実施しています。面接担当者は、学校長代理、副校長、教務課、進路指導課職員が担当し、入試担当者マニュアルに沿って質問、採点が均一化され、担当者ごとに個人差が発生しないよう公平に一貫した内容で実施されています。合否判定に関しては、原則入試日から7日以内に合否結果を発送できるよう努め、採点終了後速やかに学校長を中心とした入試判定会議にて合否を決定しています。

以上のように、入学者受入方針に沿った学生の受入方法が採用されており、入学者選抜は適切な実施体制により公正に実施されていると判断されます。

1-5 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、または大幅に下回る状況になっていないか。その場合には、これを改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

2022年度の入学定員は362名、出願者251名、実入学者239名でした。学科別の実入学者数は、トータル・メイク学科90名(90)、アーティスト学科90名(140)プロ専科29名(40)、美容科30名(40)でした(括弧内の数字は入学定員)。

以上のとおり、トータル・メイク学科以外は入学定員が充足されていません。この状況を改善するために、オープンキャンパス等が積極的に行われています。

過去5年程度の入学定員、出願者、実入学者の経年変化を分析して、対応を検討する必要があります。とくに、コロナ禍が大きな原因と思われませんが、多様な要因を正確に把握して対策を実施することが肝要です。

以上の内容を総合して、「**基準1を満たしている。**」と判断します。

【優れた点】

- 国際性が必要とされる背景の中、英語力や国際交流をする学生数を増やしてきた実績があり、「専門力×人間力×国際力×ICT活用力」を重要要素として掲げ、意欲・熱意ある学生を育成することをめざして取り組んでいることは、これからの時代を見据えた内容として優れています。

【改善を要する点】

- 2020年から学生数の伸び悩みがみられ、コロナ禍が大きな要因とは思われますが、多様な要因を把握して、多面的な対策を実施することによって、入学定員に実入学者を近づける努力が必要です。

【更なる向上が期待される点】

- ICT活用力、国際力のある人材の高い需要に応える方策をさらに充実させて、今後発展することが期待されます。
- 入学定員に対する出願者、実入学者のデータは数値のみの資料となっていますが、経年変化等を分析して、コロナ禍による影響があるのかあるいは本質的な課題があるのかについてデータの整理・分析が期待されます。

- 美容科の認知度定着と強化が期待されます。
- 入学希望者の推移状況や社会の人材に対するニーズを予測して、コース再編等の検討が期待されます。

基準2 専修学校設置基準および関係法令等の適合性

- 専修学校設置基準および関係法令等の定める、教員資格、教員数、授業時数、校地校舎の面積、施設等に適合していること。
- 目的・目標に照らして、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準、授与される職業資格との関係において適切であり、当該職業分野の期待に応えるものになっていること。
- 教育組織および教育課程に対応した施設・設備ならびに図書、教育上必要な資料が整備され、有効に活用されていること。
- 学習を進める上での履修指導および学習相談・助言が適切に行われていること。
- 目的・目標を達成するために必要な管理運営のための組織および事務組織が整備され、機能していること。

【評価結果】 基準2を満たしている。

評価結果の根拠・理由

2-1 教員組織および職員組織の編制のための基本の方針を有しており、それに基づいた教職員の採用および組織編制が行われているか。

専修学校設置基準を順守し、教職員の採用や組織編成を行なっています。教職員の採用に関しては、就業規則・諸規定に基づき書類選考および面接にて可否を決定しています。教員採用マニュアルでは質問事項から採点シートまで詳細に定められており、教職員の採用および組織編制については適正に行われているものと判断されます。

2-2 教育課程を遂行するために必要な教員が確保されているか。また、専門分野に関し教育上の指導能力があると認められる専任教員が、関係法令が定める数以上置かれているか。

教育課程を遂行するために必要な教員は確保されています。また、専門分野において指導能力があると認められる教員を関係法令が定める数以上有しています。授業担当教員の実務経験に関しては、大学等における修学の支援～様式2号（2022年度）、各学科の情報や実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）が、Web上で公表され、シラバスでも公開されています。

2-3 授業科目（課目）が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。教育課程の編成や教育内容が、学生の多様なニーズ、関係業界の発展動向、社会からの要請等を反映したものになっているか。

教育課程が体系的に編成され、授業科目（課目）が各コースの教育目標に基づき適切に編成されています。また、英語科目では学生の習熟度別にクラス編成を行っています。カリキュラムは、教育課程編成委員会をコース別に設定しており、業界動向や求められる人材像の知見をもとに毎年見直しを行っています。その結果、教育課程の編成や教育内容が、学生の多様なニーズ、関係業界の発展動向、社会からの要請等を反映したものと判断します。

カリキュラムについて学生への共有が不十分であるという認識があり（自己評価書、基準 5-1 進学卒業率）、オリエンテーションや面談等で逐次確認と共有頻度を増やしていくよう改善が図られています。これは、クラス担任制度のあり方（基準 2-5）とも合わせて総合的に検討の必要があります。

産学連携授業、学内実習サロンでの授業、提携サロンでの店舗研修等により業界のニーズに則した知識、技術を修得できるような体制が優れています。

2-4 学生の履修に配慮した適切な時間割の設定等がなされているか。ひとつの授業科目（課目）について同時に授業を受ける学生数が、授業の方法および施設、設備その他の教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分にあげられるような適当な人数となっているか。

コース毎にクラス単位で時間割が設定されており、学生の履修に配慮した適切な時間割の設定等が行われています。また、在学中に海外留学することも可能となっています。

学生には、各期はじめのオリエンテーションで個別時間割を配布し、Web 上でも確認することができるものとなっています。

授業クラス人数は 24 名（美容科は 30 名）を基準とし、適切な人数で授業を行っています。編成クラスで人数が多くなる場合は、定員数の多い教室を配置しています。学生・卒業生とのインタビューにおいて、本学校の少人数制に魅力を感じている学生・卒業生が多く、教員と学生および学生間の距離が近く少人数制の成果が上がっていることが窺えます。

また、Microsoft の Teams を活用したオンライン学修システムが有効に活用されています。特に、コロナ禍で対面授業が困難となった際には有効に機能しています。

さらに、インターンシップの機会が非常に多数用意され、産学連携授業、学内実習サロンでの授業、提携サロンでの店舗研修等により、業界のニーズに則した知識、技術を修得のみならず、人間力の育成にも成果をあげており、優れています。

2-5 学生の履修指導および学習相談・助言が、学生の多様性（履修歴や実務経験の有無等）を踏まえて適切に行われているか。

前期開始時にオリエンテーション（2日間）を実施し、教職員より教育目標の伝達やカリキュラムの意図について周知しています。クラス担任制を採用しており、担任を中心に個人面談実施要領に即して、履修指導および学習相談・助言が適切に行われています。定期的に個別面談を実施し、学生のニーズや相談事に対応しています。

保護者会（担任と保護者の二者面談、1回/年）を実施し、学生の学修に関して保護者と連携して支援しています。学生の抱えている問題が深刻な場合は、臨床心理士と看護師が常駐している学生相談室と連携し対応しています。

以上のように、学生の履修指導および学習相談・助言が、学生の多様性（履修歴や実務経験の有無等）を踏まえ適切に行われています。

2-6 教育課程に対応した施設・設備（図書、視聴覚資料その他の教育上必要な資料を含む）が整備され、有効に活用されているか。

教育課程に対応した施設設備として下記の設置・運用が行われ、有効に活用されています。

- ・メイクサロン実習室：ヘアメイク実習に対応
- ・美容サロン実習室：サロン実習に対応
- ・ビューティアドバイザー実習室：接客販売実習に対応
- ・着付け室：着付け実習に対応
- ・写真スタジオ：撮影実習に対応
- ・シャンプー室：シャンプー実習に対応
- ・ブライダルサロン：ブライダル実習に対応
- ・フィッティングルーム：ドレスフィッティングに対応
- ・特殊メイク実習室：特殊メイク実習に対応
- ・図書室：書物の閲覧可能
- ・ネイルサロン：学内ネイルサロン、サロン実習に対応
- ・iPad1人1台を貸与：オンライン授業や課題の提出、ブック作成に対応。情報セキュリティに関しては規約を定め共有を行っている。
- ・PC 使用には詳細なマニュアルが作成され、個人情報に関する配慮もなされている。

2-7 学生支援の一環として、学生がその能力および適性、志望に応じて、主体的に進路を選択できるように、必要な情報の収集・管理・提供、ガイダンス、指導、助言が適切に行われているか。

学修した内容を活かせる業界就職を念頭に置きながら、学生の志望を最優先する形で進路指導を行っています。就職前年時に就職希望調査を行い、学生全員の志望を把握した上で、最終学年の春休みに、企業と連携し学内企業説明会（コースにより形式は異なる）を実施し、多くの企業を知る機会を提供しています。その後、キャリアセンタースタッフが担当する「就職対策授業」で、学生全員の活動状況を把握した上で、担任と情報が共有されています。

企業からの求人票や過去の選考内容を企業別にまとめた資料、求人情報等は Microsoft Teams で対象コース学生/担任に公開し、学生が自主的に希望企業を受験できるように配慮しています。応募の際、学生からの急ぎの質問・相談があれば Microsoft Teams の chat で即時回答・助言しています。未内定者には夏期休暇前に面談を行い、サポートを強化しています。

学校と保護者が連携して学生を支援する体制作りの一環として、就職前年度 10 月に「就職保護者会」が開催されています。

以上のように、合同サロン説明会や就職保護者会を通して、就職について必要な情報の収集・管理・提供、ガイダンス、指導、助言が適切に行われています。

2-8 特別な支援が必要と考えられる者への学習支援、生活支援等の実施体制が整備されているか。

「留学生入学案内」(Web ページ)、「留学生ハンドブック」を配布して、留学生に対して学校生活、日本での日常生活についてガイダンスを実施しています。また、入学前に日本語教育の実施と、日本の礼節マナー学習を行い、4 月からの授業を不安なく円滑に受講・学校生活できる仕組みが提供されています。

学費減免制度や奨学金制度が整備されています。障がいのある学生など特別な配慮が必要な学生に対しては、学生相談室、保健室の担当カウンセラー（臨床心理士）、看護師と連携して対応しています。

以上のように、留学生や特別な支援が必要と考えられる者への学習支援、生活支援等の実施体制は整備されています。

以上の内容を総合して、「**基準 2 を満たしている。**」と判断します。

【優れた点】

- 産学連携授業、学内実習サロンでの授業、提携サロンでの店舗研修（インターンシップ）等により業界のニーズに則した知識、技術の修得や人間力の育成できる体制が優れています。

【改善を要する点】

特にありません。

【更なる向上が期待される点】

- カリキュラムについて学生への共有が不十分であるという認識があり（自己評価書、基準 5-1 進学卒業率）、オリエンテーションや面談等で逐次確認と共有頻度を増やしていくよう改善が図られています。これは、クラス担任制度のあり方（基準 2-5）とも合わせて総合的な検討の必要があります。

基準3 職業実践専門課程の認定要件の適合性

- 職業実践専門課程の各認定要件（教育課程編成委員会、企業等と連携した実習・演習、教育活動等に関する情報公開）に適合していること。

【評価結果】 基準3を満たしている。

評価結果の根拠・理由

3-1 教育課程編成委員会等の委員構成が適切であり、委員会が適宜開催され、その結果が教育課程の内容に反映されているか。（なお、教育課程の編成内容に関しては、基本的な観点 2-2～2-5 において評価する。）

教育課程編成委員会はコース別に設置されており、年2回開催され、教育課程へのフィードバックも適切に行われています。教育課程編成委員会等の委員は、関連業界から選出された委員であり委員構成は適切です。業界代表の貴重な意見を取り入れ教育課程の内容に反映されています。教育課程編成委員会の議事録から、変化の激しい時代や社会に対応しようとする学校側の姿勢が窺われます。

教育課程編成委員会の議事録は、Web ページに公開されていますが、理解しにくい部分が散見されます。各委員の発言内容の記録だけではなく、論点および本学校の向かうべき方向性をまとめた報告書（学校の意見も含めて）としたフォームを作成し、本学校の取組状況が理解できるように改善することが必要です。

3-2 企業等と連携した実習・演習等が適切に実施され、教育課程の中で有効に機能しているか。

下記の企業と連携し、職業教育協定書を作成して、実習・演習等が適切かつ積極的に実施されています。

- ・ トータル・メイク学科：トータルスタイリストコース
 - 一般社団法人 国際アイラッシュ協会：アイラッシュ（まつげエクステ）の基礎技術指導
- ・ トータル・メイク学科：ヘアメイクアーティストコース
 - 株式会社 Demode：メイクアップ技法やお客様へのアドバイス、接客技術指導
 - クラフトワークス、モードケイズ、サラコーポレーション：インターンシップによるサロンワーク指導
 - 株式会社ブルー・リーフ：質感ヘアメイク技術指導
- ・ トータル・メイク学科：特殊メイク・造形アーティストコース

- ▶ 株式会社シャイニーアート：エアブラシ等のメイク技術指導
- ・ アーティスト学科：ビューティアドバイザーコース
 - ▶ 資生堂プロフェッショナル株式会社：接客を交えたメイク技法やアンチエイジングメイク技法指導
- ・ アーティスト学科：ネイリストコース
 - ▶ 株式会社 TAT：サロンワークに必要な応用技術指導
- ・ アーティスト学科：ブライダル・ウエディングコース
 - ▶ 株式会社ヴィヴィアン：花の知識、取り扱い方、アレンジ技法、結婚式におけるフラワー・バンケットコーディネート指導
- ・ 美容科
 - ▶ 株式会社セイファート：サロンワーク、技術指導
 - ▶ 株式会社 demode：サロンメイク技術指導
 - ▶ 株式会社クラフトワークス：ヘアカラー/ブリーチに関する知識・技術指導（富田）

以上のように、多彩な企業等と連携した実習・演習等が適切に実施され、教育課程の中で有効に機能している点が優れています。

3-3 教育活動等に関する情報が、ホームページ等により適切に公表されているか。

教育活動等に関する情報は、学校法人山口学園のホームページおよび ECC アーティスト美容専門学校のホームページにて適切に公表されています。

以上の内容を総合して、「**基準 3 を満たしている。**」と判断します。

【優れた点】

- 多彩な企業等と連携した実習・演習等が適切に実施され、教育課程の中で有効に機能している点が優れています。

【改善を要する点】

- 教育活動に関する教育課程編成委員会の議事録は、Web ページにて公開されていますが、理解しにくい部分が散見されます。各委員の発言内容の記録だけではなく、一般にも理解しやすいように、論点および本学校の向かうべき方向性をまとめた報告書（学校の意見も含めて）としてフォームを作成し、本学校の取組状況が理解できるように改善することが必要です。

【更なる向上が期待される点】

- 特にありません。

基準4 内部質保証

- 教育の状況等について、自己点検・評価および企業と連携した学校関係者評価が定期的実施され、それらの結果に基づいて質の改善・向上を図るための体制が整備され、取組が行われており、機能していること。
- 教職員等に対する研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。

【評価結果】 基準4を満たしている。

評価結果の根拠・理由

4-1 学生受入の状況、教育の状況および成果や効果について、自己点検・評価および学校関係者評価が適切かつ組織的に行われているか。その際、学生からの意見、学外関係者の意見や専門職域に係わる社会のニーズが、自己点検・評価および学校関係者評価に適切な形で反映されているか。

自己点検・評価については、2008年4月に「自己点検・評価委員会規定」が施行され、毎年、自己評価委員会は7月、学校関係者評価委員会は9月と2月に実施されています。

特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構の基準に基づく自己点検・評価の取組を開始しました。2009年8月には同機構に入会し、第三者評価受審に向けての準備を開始しました。第三者評価（一般社団法人専門職高教育質保証機構）は2022年に受審することとなりました。

さらに、学生アンケートなど学修者からの意見聴取も定期的実施されています。しかしながら、アンケートで寄せられた意見がどのように反映されたかなどのフィードバックが自己評価書等からは判断できません。学生とのインタビューから、授業が改善したというケースもあることは確認できましたが、これが、アンケート結果によるものかどうかは確認できません。

以上のように、自己点検・評価および学校関係者評価、学生や学外者からの意見聴取は、規程に基づき適切かつ組織的に行われています。

4-2 自己点検・評価および学校関係者評価の結果が学校内および社会に対して広く公開されているか。

自己点検・評価および学校関係者評価の結果は、Web上で自己評価報告書、学校関

係者評価議事録等として、学校内および社会に対して広く公開されています。ただし、学校関係者評価委員会の審議内容の公表は、各委員の発言内容の掲載が中心となっています。しかし、本委員会の審議が教育の質改善・向上に資することが重要であって、本学校の考え方や対応等を整理して明確に発信することが望まれます。

4-3 自己点検・評価および学校関係者評価の結果がフィードバックされ、教育の質の改善・向上のための取組が組織的に行われ、教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策が講じられているか。

自己点検・評価および学校関係者評価の結果は、本校責任者会議にて協議されており、各議題に対する意見を分析して、具体的な取組や解決の方向を決定した上、改善に努めています。報告書には「課題と解決方法」が示され、学校関係者評価についても各意見について「検討・改善・分析」がなされ、「結果・次年度への取り組み」が記述されています。

一般教員とのインタビューにおいて、ティーチング・ポートフォリオ（1年間に2回、成長マップを作って、文章に起して自分で振り返る可視化を図っている。）が作成されていることが確認されました。ティーチング・ポートフォリオは、教育課程の見直し等に資する優れた取組です。

4-4 企業等と連携した組織的な教員研修（ファカルティ・ディベロップメント）および職員研修（スタッフ・ディベロップメント）が適切に実施され、それらが教育の質の改善・向上に有効に機能しているか。

コース別に外部講師によるFDが開催され、参加者のアンケート結果等から、教育の質の改善・向上に資していることが窺えます。このほか、学園全体あるいは学校内のFD・SD研修も実施されていますが、本学校固有の課題に対する内部研修およびSD研修の機会が少なく、積極的な対応が必要です。

以上の内容を総合して、「**基準 4 を満たしている。**」と判断します。

【優れた点】

- ティーチング・ポートフォリオの作成によって、教育課程の見直し等が行われていることは優れています。

【改善を要する点】

- FD・SD 研修について、より積極的な対応が必要です（特に SD 研修と内部研修）。

【更なる向上が期待される点】

- 学校関係者評価委員会の審議内容の公表は、各委員の発言内容の掲載が中心となっています。しかし、本委員会の審議が教育の質改善・向上に資することが重要であって、本学校の考え方や対応等を整理して明確に発信することが期待されます。
- 学生アンケート結果についても、結果の公表だけでなく、組織的な分析に基づいた教育の質の改善・向上に繋がっているという積極的な発信が期待されます。

基準5 学修成果

- 目的・目標において意図している、学生が身につける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等に照らして、学修成果があがっていること。
- 当該職業分野の期待に応える職業実践的な学修成果があがっていること。

【評価結果】 基準5を満たしている。

評価結果の根拠・理由

5-1 単位修得、修了状況、資格取得の状況等から判断して、意図している学修成果があがっているか。

2021年度の在籍生は620名、その中で卒業または進級した人数は562名で、進級卒業率は90.6%でした。2021年度成績分布は、GPA平均3.03ポイントで、評点分布はA:56.2%、B:26.1%、C:6.6%、D:6.0%、F(不合格):5.1%でした。また、GPA0-1分布が1年から3年にかけて19→9→0になっており学修成果があがっています。単位が認定できない学生のためにフォローアップ授業や補講が行われています。単位修得、卒業状況等から判断して、意図している学修成果があがっています。

コース毎に受験必須検定を設定し合格率目標を定めています。19ある各種検定合格者が、三つの検定試験を除き合格率が7割以上とする目標が達成できています。目標が達成できていない検定に関しては、対策授業・フォロー授業を実施し対応しています。

授業の成果物を写真に撮って可視化することが積極的に行われています。さらに、学修成果発表の機会として、外部会場（堂島リバーフォーラム）にて Entertainment Creative Collection を年1回開催し、ファッションショー、作品展示、Webコンテンツなどパフォーマンス、作品を発表しています。

各種コンテストで優秀な成績を残しています。現在、卒業生の各種コンテストの成績については、十分には把握されておりませんが、卒業（修了）生の活躍状況も把握することが望まれます。

5-2 授業評価等、学生からの意見聴取の結果から判断して、意図している学修成果があがっているか。

学生に授業に関するアンケート（4回/年）が実施されています。期中に行うアンケートは授業進捗の確認、期末に行うアンケートは授業を振り返った内容としており、

前期、後期とも実施しています。授業満足度数値は、5点満点中の平均値で2021年度前期4.49、後期4.30でした。しかしながら、学生はイベントに対する満足度の数字が低く、卒業生調査振り返りの中では学校に対する厳しい意見も散見されます。学校側もカリキュラム・教育内容、教員の評価、就職支援等について課題と認識しており、対応しています。

以上により、授業評価等、学生からのアンケート結果から判断して、意図している学修成果があがっていると判断できます（訪問調査後に確定する）。

5-3 修了後の進路の状況等の実績や成果から判断して、意図している学修成果があがっているか。

2021年度生の就職内定率は、卒業には間に合わなかったものの、5月には100%達成しました。特に、ビューティアドバイザーコースは、コース開始以来最も多い人数且つ、今年度も多くのブランドが採用中止であったにもかかわらず、“業界外就職者”は5名にとどまりました。トータルビューティスト、ネイリスト、ブライダル・ウェディングの3コースと美容科は業界就職100%達成、業界以外の内定者が出たコースも、業界就職率は各々ヘアメイク98.1%、特殊メイク75%、特殊造形77.8%で、全体でも96.1%とかなり高い数値を示しました。学校として就職内定率同様、「業界就職」には重点を置いているので、コロナ禍においても意図した学修成果があがっています。

以上のように、非常に高い就職率を維持し優れており、学修成果があがっているものと判断します。

5-4 修了生や就職先等の関係者からの意見聴取の結果から判断して、意図している学修成果があがっているか。

毎年卒業生の内定先企業対象に、在籍確認、キャリアアップ状況、ECC生採用の感想、要望等を質問するアンケートを行っています。2020年より調査対象の卒業生を、単年から過去5年間全員に変更しました。2021年は299社に対してアンケートを送付、148社より回答を得ました。キャリアセンターの実施するアンケートは、直接学修成果を問う内容ではありませんが、勤務していた卒業生が退職した場合など厳しい意見も一部にはあるものの、ECCの学生・教育に対して賛辞も多数見られ、学修成果があがっているものと判断できます。

以上の内容を総合して、「**基準5を満たしている。**」と判断します。

【優れた点】

- 各種検定試験の合格率は高く、学修成果発表の機会として、ファッションショーや作品展示、コンテストなどで作品を発表し、外部にはライブ配信など行ったことは優れています。
- 就職実績、特に「業界就職」が非常に高いことは優れています。
- 優れた教育目標、組織により社会ニーズを反映した教育課程編成を行い、授業、講師評価を通して継続的に学校の価値向上に努めています。その結果、学修成果として資格取得、国家試験合格率、就職率に反映されていることは優れています。

【改善を要する点】

- アンケート結果の解析や卒業生の活躍状況の把握等の資料の整理、分析が十分ではないことは、今後改善が望まれます。

【更なる向上が期待される点】

- キャリアセンター（2022年度に就職指導課を改組して設置）について、学生（在校生・卒業生）や就職先（事業所）との関係を含め、その役割を明確にし、さらなる拡充が期待されます。
- 就業サロンとの連携、将来のあるべき美容業界のあり方を共有できる関係の構築が期待されます。

【参考資料】

参考資料として対象学校から提出された自己評価書から、下記の項目について原則として原文のまま掲載します。

自己評価書

令和4年度

学校法人山口学園

ECC アーティスト美容専門学校

2022年8月31日

教務においては学生アンケートの数値として、力のつく授業(2019年度後期→2020年度後期→2021年度後期)=4.14→4.29→4.30、授業のわかりやすさ(2019年度後期→2020年度後期→2021年度後期)=4.14→4.27→4.30、総合授業満足度(2019年度後期→2020年度後期→2021年度後期)=4.14→4.29→4.31、担任満足度(2019年度後期→2020年度後期→2021年度後期)=4.25→4.24→4.32。進級率(2019年度→2020年度→2021年度)=83.1%→89.5%→84.5%。卒業率(2019年度→2020年度→2021年度)=96.5%→95.6%→97.8%。授業の質向上のため、授業見学を制度化し、見学後のフィードバックを定期的に行ったり、FDとしてメイク講習、検定取得の補助を行っている。出席管理に関してはiPadを使用したシステムを導入しデータ管理を行い、欠席者の把握と指導を行っている。また学生との迅速な情報共有のため学生アプリ導入や補講制度を充実させ、多くの学生を支援できるしくみを構築し学習支援を行った。今後はICT活用による自学自習コンテンツ開発や学園LMSによる中間評価などで学生の学習状態を早期に把握し、継続率のさらなる向上を目指し、一人でも多くの学生を卒業まで導いていく。

進路では進路指導課を「キャリアセンター」に名称を変更し、進路実績は2021年3月卒業生まで就職希望者に対し8年連続で就職内定率100%を達成していたが、2021年度は98.3%となった。分野別ではBA職がコロナ禍直前の2019年度は98名あったが、2020年度35名、2021年度40名と大きな影響を受けた。同じくコロナの影響を受けた業種としてはブライダル業界があげられる。美容室やネイルサロンはコロナの影響がほぼなく、順調に就職が決まっている。内定先への企業アンケートを取得し、企業との関係構築を図っている。引き続き企業様の方から直接声をかけていただけるような関係性構築を目指しつつ、学生の希望進路獲得を目指す。また、企業内定をゴールとせず、キャリアビューを構築させることが今後の課題となっている。

大阪府下においても新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言、まん延防止等重点措置がたびたび発令されるなか、学生の学びを止めないために分散登校、オンデマンド授業の対応を行ってきた。2022年度から在籍生全員にiPadを貸与している。今後もICTの強みを教育に活かし、ICT教育を推進しながらコロナ禍、コロナ後においても質の高い教育が提供できるよう取り組んでいく。

2 学校の目的・目標

目的・目標

学校運営方針・目指す学校像

4つの力(専門力・国際力・人間力・ICT活用力)を持った人材育成

～学生がこれからの美容業界で活躍するために必要な業界標準に気づかせ、獲得させる～

この3年間(2021年～2023年)の重点項目は①メイクブランディング、②美容科認知度定着、③学修成果による他校との差別化、④企業連携による教育の質保証を中期計画としている。中期計画の2年目の2022年度は①学修成果の可視化、②質保証と退学率減少の両立、③美容科強化を方針としている

メイクブランディングに関しては、2年次にトッププロを招いてのアドバンスドヘアメイクの授業を行い、将来のキャリア選択の参考としつつ高度なメイク、作品撮影ができるようにしている。3年次にはメイク分野の希望進路に合わせてクラス編成を行い、授業・指導を行っている。中でもメイクアップアーティストになるためのアシスタントに就くためのクラスでは、2022年度で3年目になるが過去に、2020年度6名、2021年度7名の有名メイクアップアーティストのアシスタントとして採用実績がでている。幅広いメイク分野の就職獲得と、現時点でのメイク技術修得、学生の理解を目標にし、ブランディングの確立を目指している。

美容科ではトップスタイリストを招いて最新の技術セミナー並びにモチベーションアップの講演を同時開催している。また、技術力判定のために、美容サロンと提携し、授業を行った後判定テストを行い、サロン合格水準に達しているかどうかを判定する「ディプロマ制度」を2022年度から実施している。2022年度は技術別に7社の協力を得ている。また学内サロンでは一般のお客様に1人年間100名の人頭カット、カラー施術を行い、サロンに必要な技術修得と美容師国家試験合格の方針とし、高校生への認知度アップに務める。

学校全体の教育の質保証に関しては、高等教育修学支援新制度の認可や23年3月公開予定の第三者評価受審にむけて学内の体制整備を行い、自己点検評価や学校関係者評価委員委員会などを充実させ、PDCAサイクルで課題解決に取り組み教育の質保証を行うとともに、定員管理と安定した学生募集で健全な学校運営と経営を目標としている。設備面ではメイク実習室、ネイル実習室、着付け教室、ドレス試着室、ブライダルサロン実習室、特殊メイク実習室、美容シャンプー室、撮影スタジオ、BA接客販売室の各実習を整備している。その他ネイルサロン、美容サロンの2つのサロンを持ち一般の方を施術し技術向上、サロンワークが学習できる環境としている。また、就職活動のオンライン化に対応するため、WEB面接に対応したオンラインブースを3部屋2021年度に開設した。学生の意見も運営に取り入れながら教育力向上、学生満足度の向上のためさらに学習環境を整備し、教育の質を向上させ、教育の成果を可視化し、速やかに情報公開できるよう学内の体制を整備していく。また企業連携を推進するため、定期的に教育課程編成委員会のメンバーの見直しを行い、教育課程編成委員会を充実させ、求める人材やカリキュラムについて外部の意見を積極的に取り込み運営していく。

その他、ICT教育推進のため学内のWi-Fiやネットワーク環境を強化しつつ、iPadを全学生に無償貸与し、ICTを活かして教育の質を向上させ、力づく授業を展開し、教育成果を発表する場を充実させることにより人材育成目標を達成する。また特色のある学校づくりや教育のしくみづくりを実践するとともに継続して高い教育成果を追求し、教育実績を外部に発信することにより学修成果の可視化を進めていく。また、可能な限り業務を効率化し経費削減、残業削減の意識を全教職員で共有しながら働きやすい職場環境を実現しながら一丸となって取り組んでいく。

3 基準ごとの自己評価

基準1 目的・目標の設定および入学者選抜

観点ごとの分析(基準1)

1-1 学校の目的・目標において、学生が身につける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等が、適切かつ明確に定められているか。

山口学園の教育理念として、「実践的な専門知識の教育と技能の習得を通じて、社会が求むところの高度専門職業人の養成、且つ、豊かな社会、平和と幸福を希求してやまないところ豊かな社会人の育成をはかる」と定めている。また、運営目標として①変化する時代社会の要請に即応し、学生、保護者そして広く社会からの期待に応える最先端の専門学科、コース開発に努め、社会の持続的発展に寄与する専門学校づくりをめざす。②教職員が誇りをもち、且つ、安全で健康な楽しく働きやすい環境を有する専門学校づくりをめざす。③さまざまな社会貢献活動への参画を通して卓越した実行力を有する専門学校づくりをめざす。と定めている。

本校の教育目的については、「本学は学校教育法及び教育基本法に基づき、美容・健康・芸術の専門教育と、技能教育を通じて美と健康の知識と豊かな創造性、時代をリードする進取の精神、及び芸術的センスに富んだ実社会に有用な人材の育成を目的とする。もって人々の文化的生活の向上に寄与したい。」と定め、育成人材像を明確にしている。

また学内の教育目標として「4つの力(専門力、国際力、人間力、ICT活用力)を持った人材育成」をスローガンに掲げ、「美容業界で長く活躍できる総合的な人材育成の実現」を教育目標とし、各コースごとの教育目標と連動し、明確化している。

1-2 学校の目的・目標が、構成員(教職員および学生)に周知され、社会に広く公表されているか。

1-1の教育理念・運営目標・教育目的・育成人材像のいずれも明確に定められており、以下のとおり教職員、学生等に周知されている。

また本校の学校WEBサイトを通じ、広く一般社会(高校や関連企業、地域の方々など)にも公開されている。

●教職員に対して＝年度はじめの全体会や全講師会議においてHANDBOOKを配布し、各部署責任者より方針や変更点を説明

●新入生、在校生に対して＝新入生オリエンテーションにてHANDBOOKを配布し、各部署責任者や教務課担当者より説明

●一般(高校教員や保護者、地域関係者等)＝学校HPにてHANDBOOKを公開し、広く周知に努めている。

●21年度は20年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたが、科目ごとに対面授業とオンデマンド授業をクラス人数及び学習効果により判別し、特別時間割を設定し緊急事態宣言下においても学びをとめないよう運営を行った。

1-3 学校の目的・目標に沿って、求める学生像や入学者選抜の基本方針等が記載された入学者受入方針が明確に定められ、公表、周知されているか。

本校の入学者受け入れ方針は、以下のとおり定められており各年度の募集要項にて公表、周知されている。

22年度募集「アドミッションポリシー」

山口学園の理念、本校の教育目的および教育目標に基づき、技術面だけでなく、人材像等の面からも業界が求めるカリキュラムを編成し、業界で長く広く活躍できる人材の育成を目指し、以下のような資質・能力・意欲をもった人材を広く受け入れる。

①専門力

- ・高等教育等において幅広い知識を学習し、美容の専門分野の科目を学ぶために必要な基礎学力を有している人。
- ・美容業界における最新の知識、技術、技能に対する関心や学習意欲が高く、その分野で貢献したいという熱意のある人。
- ・業界最先端のスキルに加え、問題解決力や幅広い視野、トレンドを察知する能力を養おうとする意欲のある人。

②人間力

- ・チーム制作やグループ活動、サービスラーニング、インターンシップ、サロンワーク実習等を通じて、協調性、責任感、問題解決力、リーダーシップ、ホスピタリティー、接客力を養う意欲のある人。

③国際力

- ・グローバル社会に対応した言語能力と幅広い視野を積極的に身につけ、多様化する国際化社会で活躍する意欲のある人。

多くの入学者が利用するAO入学については、オープンキャンパスや個別相談会などの募集イベントへの参加を必要とし、学校方針、コース内容、学習内容などを理解することを受験資格としている。

1-4 入学者受入方針に沿った学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が、適切な実施体制により公正に実施されているか。

本校の22年度募集の入学形態は、①AO入学、②公募推薦入学、③一般入学である。選考方法は書類選考、面接である。入試面接は、入学願書や調査書など提出された書類をもとに一人あたり15分程度の個人面接を実施している。面接担当者は、学校長代理、副校長、教務課、進路指導課職員が担当し、入試担当者マニュアルに沿って質問、採点が均一化され、担当者ごとに個人差が発生しないよう公平に一貫した内容を提供している。合否判定に関しては、原則入試日から7日以内に合否結果を発送できるよう努め、採点終了後速やかに学校長を中心とした入試判定会議にて合否を決定している。

1-5 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、または大幅に下回る状況になっていないか。その場合には、これを改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

2021年度は入学定員378名に対し、出願者290名、実入学者276名であった。各学科ごとの募集状況をリアルタイムに把握し、学科ごとの入学定員を遵守している。

優れた点および改善を要する点

優れた点

ヘアメイクを中心に学習するトータル・メイク学科は2019年の開設以来定員の90名をほぼ確保している。(2019年は89名、2020年以降は90名)。

改善を要する点

衛生課程の美容科は定員充足率が悪く認知度アップが課題となっている。また教職員間の人材育成像と育成方針の共有をさらに図ることが課題となっている。

基準1 自己評価概要

山口学園の建学の理念に則り、学校の運営目標や教育目的を定め共有している。またこれらは入学予定者に対しては募集要項、在校生や教職員に対しては、年度当初に配布するハンドブック、担当者ガイドおよび学校ホームページに明記し、周知している。学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、企業連携授業などを通じ、外部の意見を積極的に運営やカリキュラムに取り入れながら職業人育成教育を行っている。入学者受け入れ方針は、アドミッションポリシーのもと明確に定められており、募集要項にて周知している。AO、公募推薦、一般入学のすべてにおいて選考科目となっている面接試験では、入試面接マニュアルをもとに一貫した基準で選抜を行っている。定員管理を常に行い、入学定員を順守して募集活動を行っている。

基準2 専修学校設置基準および関連諸法令との適合性

観点ごとの分析(基準2)

2-1 教員組織および職員組織の編制のための基本的方針を有しており、それに基づいた教職員の採用および組織編制が行われているか。

専修学校設置基準を順守し、教職員の採用や組織編成を行う。教職員の採用に関しては、就業規則・諸規定に基づき書類選考および面接にて合否を決定している。

2-2 教育課程を遂行するために必要な教員が確保されているか。また、専門分野に関し教育上の指導能力があると認められる専任教員が、関係法令が定める数以上置かれているか。

本校では教育課程を遂行するために必要な教員を確保している。専門分野において指導能力があると認められる教員を関係法令が定める数以上有している。また授業担当教員の実務経験をシラバス上で公開している。

2-3 授業科目(課目)が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。教育課程の編成や教育内容が、学生の多様なニーズ、関係業界の発展動向、社会からの要請等を反映したものになっているか。

授業科目は各コースの教育目標に基づき編成されている。カリキュラムは教育課程編成委員会にて得られる業界動向や求められる人材像の知見をもとに毎年見直しを行っている。英語科目では学生の習熟度別にクラス編成を行っている。カリキュラムについて学生への共有が不十分であることが課題であるため、オリエンテーションや面談等で逐次確認と共有頻度を増やしていくよう改善を図っている。

2-4 学生の履修に配慮した適切な時間割の設定等がなされているか。ひとつの授業科目(課目)について同時に授業を受ける学生数が、授業の方法および施設、設備その他の教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分にあげられるような適当な人数となっているか。

本校ではコースごとにクラス単位で時間割が設定されている。学生には各期はじめのオリエンテーションにて個別時間割を配布し、WEB上でも確認することができる。
授業クラス人数は24名(美容科は30名)を基準とし、適切な人数で授業を行っている。編成クラスで人数が多くなる場合は、定員数の多い教室を配置している。

2-5 学生の履修指導および学習相談・助言が、学生の多様性(履修歴や実務経験の有無等)を踏まえて適切に行われているか。

前期開始時にオリエンテーションを実施し、教職員より教育目標の伝達やカリキュラムの意図について周知している。クラス担任制を採用しており、定期的に個別面談を実施し、学生のニーズや相談事に対応している。年に1回、保護者会(担任と保護者の2者面談)を実施し、学生の学修を保護者と連携して支援している。学生の抱えている問題が深刻な場合は、臨床心理士と看護師が常駐している学生相談室と連携し対応している。

2-6 教育課程に対応した施設・設備(図書、視聴覚資料その他の教育上必要な資料を含む)が整備され、有効に活用されているか。

教育課程に対応した施設設備として下記の設置・運用を行っている。

- ・メイクサロン実習室:ヘアメイク実習に対応
- ・美容サロン実習室:サロン実習に対応
- ・ビューティアドバイザー実習室:接客販売実習に対応

- ・着付け室:着付け実習に対応
- ・写真スタジオ:撮影実習に対応
- ・シャンプー室:シャンプー実習に対応
- ・ブライダルサロン:ブライダル実習に対応
- ・フィッティングルーム:ドレスフィッティングに対応

特殊メイク実習室:特殊メイク実習に対応

- ・図書室:書物の閲覧可能
- ・ネイルサロン:学内ネイルサロン、サロン実習に対応

・iPad1人1台を貸与:オンライン授業や課題の提出、ブック作成に対応。情報セキュリティに関しては規約を定め共有を行っている。

2-7 学生支援の一環として、学生がその能力および適性、志望に応じて、主体的に進路を選択できるように、必要な情報の収集・管理・提供、ガイダンス、指導、助言が適切に行われているか。

習ったことを活かせる業界就職を念頭に置きながら、学生の志望を最優先する形で進路指導を行っている。就職前年時に就職希望調査を行い、学生全員の志望を把握。最終学年の春休みに、それも踏まえつつ、企業と連携し学内企業説明会(コースにより形式は異なる)を実施し、多くの企業を知る機会を提供。その後キャリアセンタースタッフが担当する「就職対策授業」内で、学生全員の活動状況を把握、担任と情報を共有。企業から貰った求人票や過去の選考内容を企業別に纏めた赤本、求人情報等はteamsで対象コース学生/担任に公開し、学生が自主的に希望企業を受験できるようにしている。応募の際学生からの急ぎの質問/相談があればteamsのchatで即時回答、助言している。夏期休暇前には未内定者面談を行いサポートを強化している。また、学校と家庭が連携して学生を支援する体制作りの為、就職前年度10月に「就職保護者会」を開催している。

2-8 特別な支援が必要と考えられる者への学習支援、生活支援等の実施体制が整備されているか。

留学生については、設置者である学校法人山口学園において、多言語対応した「留学生入学案内」webページを設け、積極的に受け入れている。Web ページには、入学するためのプロセスを明示し、手続きの仕組みを把握理解することが可能となっている。

新入生ならびに在籍留学生に配布する「留学生ハンドブック」は、本学の留学生指導の経験とノウハウを反映した、留学生にわかりやすく学校生活・日本での日常生活を安全安心に過ごせるガイドブックであり、学校生活および日常生活や健康・安全などに関する注意事項、山口学園の安否確認サイトの利用方法、日常生活に関連した各機関についての説明など多岐にわたる役立つ情報を提供し、留学生をケア、サポートしている。

また、入学前に日本語教育の実施と、日本の礼節マナー学習を行い、4月からの授業を不安なく円滑に受講・学校生活できる仕組みを提供している。

障がいのある学生など特別な配慮が必要な学生に対しては、学生相談室、保健室の担当カウンセラー(臨床心理士)、看護師と連携して対応している。

優れた点および改善を要する点

優れた点

iPadを貸与することに加え、全学生にoffice365アカウントを取得し、情報共有や学習効果を高めている。またメイク、ネイル、美容の専用サロンを設置している。

改善を要する点

学生へのカリキュラムフローの周知が不徹底である。

基準2 自己評価概要

教職員の採用や組織編制、教職員数とその専門性の確保、また授業時数、施設設置は専修学校の設置基準に基づいて適切に行われている。教育課程は各コースの教育目標に基づき編成されており、教育目標は外部からの知見をもとに毎年見直しを行っている。学生の履修は教室面積による定員を基準とした環境で時間割編成を行っている。授業形態は座学、実習を教育目的に合わせて決定している。学生への対応については、クラス担任制を敷き、指導・相談・助言を保護者とも共有しながら行っている。施設設備に関しては、専門指導ができる実習室を設けるとともに、1人1台iPadを貸与している。また進路指導に関しては指導の専門部署を設置し、担任と連携しながら就職指導を行っている。

基準3 職業実践専門課程の認定要件の適合性

観点ごとの分析(基準1)

3-1 教育課程編成委員会等の委員構成が適切であり、委員会が適宜開催され、その結果が教育課程の内容に反映されているか。(なお、教育課程の編成内容に関しては、基本的な観点2-2～2-5において評価する。)

本校の教育課程編成委員会は各学科の業界関係者もしくは主要検定関係者で構成されており、各学科のカリキュラムや目指す人材像検証のための重要な機会となっている。各委員は学科ごとに下記の通り構成されている。

【2022年度教育課程編成委員会委員】

□トータル・メイク学科:トータルスタイリストコース

一般社団法人国際アイラッシュ協会 岡村 美香

株式会社モードケイズ 小林三千雄

株式会社TAT 能勢健次

株式会社レスイズモア 木村 太一

□トータル・メイク学科:ヘアメイクアーティストコース

一般社団法人ジャパン・ビューティメソッド協会 大久保紀子

株式会社ブルー・リーフ 山田直毅

株式会社Violet 前原穂高

□トータル・メイク学科:特殊メイク・造形アーティストコース

日本サンモールド株式会社 木虎和也

株式会社ケーイーラボ 紀野一郎

特定非営利活動法人PINKJACK 上野信幸

□アーティスト学科:ビューティアドバイザーコース

パルファン・クリスチャン・ディオール・ジャポン株式会社 野田かをり

コーセー化粧品販売株式会社 西日本百貨店支店 秋山智

一般社団法人 日本化粧品協会 矢田綾香

□アーティスト学科:ネイリストコース

株式会社TAT 能勢健次

一般社団法人アスリートネイル協会 宮上昌悟

株式会社フリーゾーン 大西信義

株式会社AVANCEホールディングス 出水康博

□アーティスト学科:ブライダル・ウエディングコース

株式会社クラウディアホールディングス 中蘭愛

株式会社アルカンシェル 加賀宇睦弘

公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 加賀宇睦弘

□美容科

一般社団法人一生美容に恋する会 河島健

大阪佐々木化学株式会社 田村知之

株式会社クラフト・ワークス 宮崎裕輔

セイファート 福井 幸大

luve heart's And Be 高山恵

3-2 企業等と連携した実習・演習等が適切に実施され、教育課程の中で有効に機能しているか。

【2022年度企業連携授業】

□トータル・メイク学科:トータルスタイリストコース
一般社団法人 国際アイラッシュ協会:アイラッシュ(まつげエクステ)の基礎技術指導
□トータル・メイク学科:ヘアメイクアーティストコース
株式会社Demode:メイクアップ技法やお客様へのアドバイス、接客技術指導
クラフトワークス、モードケイズ、サラコーポレーション
:インターンシップによるサロンワーク指導
株式会社ブルー・リーフ:質感ヘアメイク技術指導
□トータル・メイク学科:特殊メイク・造形アーティストコース
株式会社シャイニーアート:エアブラシ等のメイク技術指導
□アーティスト学科:ビューティアドバイザーコース
資生堂プロフェッショナル株式会社:接客を交えたメイク技法やアンチエイジングメイク技法指導
□アーティスト学科:ネイリストコース
株式会社TAT:サロンワークに必要な応用技術指導
□アーティスト学科:ブライダル・ウエディングコース
株式会社ヴィヴィアン:花の知識、取り扱い方、アレンジ技法、結婚式におけるフラワー・バンケットコーディネート指導
□美容科
株式会社セイファート:サロンワーク、技術指導
株式会社demode:サロンメイク技術指導
株式会社クラフトワークス:ヘアカラー/ブリーチに関する知識・技術指導

3-3 教育活動等に関する情報が、ホームページ等により適切に公表されているか。

本校の教育活動に関する情報は、学校法人山口学園のホームページとECCアーティスト美容専門学校のホームページにて適切に公表されている。

優れた点および改善を要する点

優れた点

改善を要する点

基準3 自己評価概要

教育課程編成委員会、企業等と連携した実習演習、教育活動等に関する情報公開については、職業実践専門課程の各認定要件に適合している。

基準4 内部質保証

観点ごとの分析(基準1)

4-1 学生受入の状況、教育の状況および成果や効果について、自己点検・評価および学校関係者評価が適切かつ組織的に行われているか。その際、学生からの意見、学外関係者の意見や専門職域に係わる社会のニーズが、自己点検・評価および学校関係者評価に適切な形で反映されているか。

学生の受け入れ状況、教育の状況、および成果や効果について自己点検評価および学校関係者評価が組織的に行われている。自己点検評価の実施については2008年4月1日に「自己点検・評価委員会規定」を施行し、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構の基準に基づく自己点検・自己評価の取り組みを開始した。また2009年8月には同機構に入会し、将来的に第三者評価受審にむけての準備を開始した。第三者評価受診は2022年に実施することとなった。学校関係者評価委員会報告書は委員会実施後、速やかにホームページ上で公開し、関係者だけでなく、世間一般に広く周知している。また、例年自己評価委員会は7月、学校関係者評価委員会は9月と翌年2月に実施している。

4-2 自己点検・評価および学校関係者評価の結果が学校内および社会に対して広く公開されているか。

自己点検・評価及び学校関係者評価の結果は本校ホームページによって学内および広く社会に対して公開している。

4-3 自己点検・評価および学校関係者評価の結果がフィードバックされ、教育の質の改善・向上のための取組が組織的に行われ、教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策が講じられているか。

自己点検・評価および学校関係者評価の結果は本校責任者会議にて協議されており、議題に対しての具体的な取り組みを決定し、改善に努めている。

4-4 企業等と連携した組織的な教員研修(ファカルティ・ディベロップメント)および職員研修(スタッフ・ディベロップメント)が適切に実施され、それらが教育の質の改善・向上に有効に機能しているか。

本校ではFD・SDによって、教授力・学生指導力・対応力を向上させることを重要視している。目的別に外部研修を受講し、各MTG内で共有されている。

優れた点および改善を要する点

優れた点

教授力向上、学生支援力向上、専門力向上の観点からFD・SDを実施している。

改善を要する点

専門分野の内部研修、外部研修の機会が少なく、実行までのハードルが高い。

基準4 自己評価概要

学生(卒業生)からの意見等をもとに、自己点検・評価および学校関係者評価を定期的実施し、質の改善・向上を行っている。委員会の実施後は、議論された内容をHPにて一般公開している。FD・SDの外部研修については通年で予算化の上、実施している。

基準5 学修成果

観点ごとの分析(基準1)

5-1 単位修得、修了状況、資格取得の状況等から判断して、意図している学修成果があがっているか。

2021年度の在籍生は620名であった。その中で卒業または進級した人数は562名で、進級卒業率は90.6%であった。2021年度の成績分布はGPA平均が3.03ポイントとなっており、評価A:56.2%、B:26.1%、C:6.6%、D:6.0%、F(不合格):5.1%という結果であった。

コース毎に受験必須検定を設定し、合格率目標を定めている。目標を達成できていない検定に関しては、対策授業、フォロー授業を実施し、対応している。

学修成果発表の機会として、外部会場(堂島リバーフォーラム)にて年1回Entertainment Creative Collectionを開催し、ファッションショー、作品展示、Webコンテストなどパフォーマンス、作品を発表している。20年度、21年度はコロナ感染対策の為、観客は在校生のみとし、保護者様、企業、関係者にはライブ配信で視聴していただいた。

5-2 授業評価等、学生からの意見聴取の結果から判断して、意図している学修成果があがっているか。

年4回学生に授業に関するアンケートを実施している。期中に行うアンケートは授業進捗の確認、期末に行うアンケートは授業を振り返った内容としており、前期、後期とも実施している。授業満足度数値は5点満点中の平均値で2021年度前期4.49、後期4.30であった。

5-3 修了後の進路の状況等の実績や成果から判断して、意図している学修成果があがっているか。

2021年度生の就職内定率は、卒業には間に合わなかったが、5月に100%達成。特に、ビューティアドバイザーコースは、コース開始以来最も多い人数且つ、今年度も多くのブランドが採用中止であったにもかかわらず、“業界外就職者”は5名にとどまった。トータルビューティスト、ネイリスト、ブライダル・ウェディングの3コースと美容科は業界就職100%達成、業界以外の内定者が出たコースも、業界就職率は各々ヘアメイク98.1%、特殊メイク75%、特殊造形77.8%で、全体でも96.1%とかなり高い数値を叩き出した。

学校として就職内定率同様、「業界就職」には非常に重きを置いているので、意図した学修成果があがっていると言える。

5-4 修了生や就職先等の関係者からの意見聴取の結果から判断して、意図している学修成果があがっているか。

毎年卒業生の内定先企業対象に、在籍確認、キャリアアップ状況、ECC生採用の感想、要望等を尋ねるアンケートを行っている。2020年より調査対象の卒業生を、単年から過去5年間全員に変更。2021年は299社に対してアンケートを送付、148社より回答を得た。キャリアセンターの実施するアンケートは、直接学修成果を問う内容ではないが、勤務していた卒業生が退職した場合など厳しい意見をいただく場合もあるが、ECCの学生・教育に対して賛辞をくださっている企業様もあり、学修成果を感じることができる。

優れた点および改善を要する点

優れた点

企業(サロン)連携授業を設定しており、業界に必要な技術、知識を修得できる授業を提供している。

改善を要する点

卒業時にキャリアビューが意識できていない学生が多い。

基準5 自己評価概要

2021年度の学修成果においては、コロナウィルスの影響から休講や対面授業機会が抑制されたこともあり、意図した水準には達していない。進路に関しても内定率は成果が出ているが、コースにより業界就職率は減少した。